

て

しごと【手仕事】




型染めはすべての工程が大切 浜松市

日本の伝統的な染色技法の型染めは、デザインを決め、型紙を彫り、のりおきをし、染め、色止め、洗いと、単純な型染めでも多くの工程が必要とされる。「すべての工程がおろそかにできないんですよ。一つひとつついでにいよいよやればちゃんとした作品になります」と自らを「染色工」と呼ぶ山内武志さん。実家が染め物をしてきた縁で人間国宝の故芹沢銈介氏に師事し、6年間型染めを学んだ。「型染めは模様がきっぱりしていて、潔い」と山内さん。型紙をていねいに彫るから、その工程であいまさが整理され、形ができて上がるからだとか。手ぬぐいの型紙だけでも80種以上あるという。同じ型紙でも染め方や生地で雰囲気が変わるのが型染めの奥深さ。引き染めは刷毛で2、3回は染料を重ねていく。「洗いの工程を終え、引き上げた瞬間は感動しますね」。



N 伝統文様とモダンデザインの作品が並ぶ
アトリエぬいや

Note 〒430-0929 静岡県浜松市中区中央3-8-30 ☎053-457-4777
営業時間 / 11:00~18:00 定休日 / 火・水曜 夏季休暇(2012年は8月7日~16日)
http://www.geocities.jp/nuiya_katazome/

 新東名 浜松浜北ICより約45分 / 東名高速 浜松ICより約20分



江戸時代には刺繍を生業としていた「ぬいや」で、その後、染めも手がけるようになり、先代からは染めだけの「紺屋」に。店内には伝統的な模様からモダンな模様のもので、山内さんの作品が色々並ぶ。中でも、最近は浴衣地を染めた手ぬぐい(1,200円)が人気だという。様々なイベントも行っている(※詳細はHPで確認)。

